



馬の学校

馬の学校通信

2011. 9 vol.43

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 名古屋市天白区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX : 052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : <http://www.horseschool.org>



秋のプログラム 参加者募集！！

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日 程 : 10月16日 (日) / 11月26日 (土) / 12月17日 (土)

午前 10~12 時 *雨天決行

場 所 : 服部緑地乗馬センター (豊中市服部緑地 1-5)

対 象 : 小・中・高校生 (定員4名) *原則として保護者同伴

参加費 : 1 人 ¥ 8,000 / 1 回 (現地集合・解散)

ファミリープログラム (日帰り)

日 程 : 11月19日 (土) 午前10時半~午後4時 *小雨決行

場 所 : ホーストレッキングわち (京都府船井郡京丹波町出野小字カジロ)

対 象 : 幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族 (定員3家族)

参加費 : 1 家族 ¥ 15,000 / 1 回 (現地集合・解散)

別途 食費 1 人 ¥ 500

★お申し込みは、会員の皆様は9月20日 (火) から、一般の方は 22 日 (木) から、電話・ファックス・メールにて事務局までお願いいたします。

夏のプログラム 活動報告

ウマキャンプ (8/17~20)



担当馬のブラシがけ



鞍付けもしました



こんな乗り方もできました



みんなで記念撮影



乗馬レッスン



ドキドキわくわくのフリーに挑戦



フリーで駆歩もできました！



夏恒例の草集め

「治療的乗馬」研究集会2011

日 程 : 2011年11月5日 (土)・6日 (日)

場 所 : オリンピック記念青少年総合センター (東京)

テーマ : 豊かな生活の質に寄与する馬

～スポーツとレクリエーションの焦点をあてて～

詳しくは日本治療的乗馬協会HP をご覧ください

<http://www.itranet.jp/>

うまやさん 無事終了

6月25日~7月3日に開催したうまやさんは無事に終了

しました。通信を見て遠くから来ていただいた方、何度も足を運んでいただいた方、ありがとうございました。また地元新聞に掲載していただいたため、新しい出会いもあり、いろいろな発見もありました。今後 も何らかの形で、年1回ずつでも継続していくことができると考えていますので、お楽しみに！



🐎 ミルキー 大活躍！

馬の学校の仲間になって1年たったミルキーですが、ウマキャンプでは裸馬体験で大活躍でした。ミルキーの背中では広くて安定感があり、背中の上でどんなことをしてもじっと待っていてくれます。後ろ向きで乗ったり、正座をしたり、手を離したり、なんと背中に立った子どももいました。「ミルキーのおしりがとてもやわらかくてふさふさしていた」との発見も。子どもたちのチャレンジをそっと見守ってくれる、頼もしいパートナーです。



🐎 おすすめの本

『にているね！？』 五味太郎 月刊かがくのとも4月号
福音館書店

馬といふ、にているのか、にていないのか・・・五味さんのユニークな視点で検証されていきます。自分のことを「かっこいい」と思っている馬が、とあるいすに「おれににているよね」と言われます。「ぜんぜんにてないよ」と馬は言いますが、4本足、だれかをのせること、つらいこと、うれしいこと・・・にているような気がしてきました。



さて、結末は・・・？

馬の行動 (3) 睡眠

馬はいったい何時間ぐらい眠っていると思いますか？住んでいる環境や個体差もありますが、平均すると4～5時間です。さらにそのうち熟睡しているのは1時間程度で、残り3時間は浅い眠りだそうです。草食動物である馬は、野生時代は何時間も熟睡していたら、肉食動物に襲われてしまうので、その習慣が今でも残っていると言われています。

ではどのようにして眠っているのでしょうか？馬の眠っている状態は3つに分けることができます。まず1つめは、「立った状態で寝る」（写真上）です。多くの場合、1本の足を休ませて（軽く浮かせるような感じ）残りの3本の足で立ったまま寝ています。2つめは、前足を折って「伏せた状態で寝る」（写真中）です。夜中にそ〜と馬小屋に行くと見ることができるとはかもしれません。3つめは、「横になって寝る」です。熟睡している状態で、大人の馬ではなかなか見ることができませんが、子馬の頃はよくこの状態で寝ています（写真下）。まさに「寝る子は育つ」ですね。



🐎 編集後記

台風が通り過ぎ、ようやく暑さも和らぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。

毎年恒例の大阪YMCA表現・コミュニケーション学科の「馬と遊ぼう」には13名の生徒たちが参加してくれました。元気に挨拶をしてくれ、暑い中の掃除も頑張り、乗馬では誘導や速歩にチャレンジ。その中に昨年参加したことがきっかけで、近所の乗馬クラブでライセンスを取ったという生徒がいたり、小学生の頃、馬の学校のプログラムに参加していた生徒に再会できたりして、とても楽しいひとときでした。またウマキャンプでは、初参加の子どもたちが多くて最初はやや緊張気味でしたが、様々な活動を通して、子どもと馬との関係、子ども同士の関係がみるみると変わっていく様子には、目を見張るものがありました。慣れている子どもたちが初めて参加する子どもたちに教えてあげるとい場面も多くあり、そのことはお互いの成長につながったようでした。またその後、夏休みの宿題でウマキャンプでの体験を取り上げたことも聞き、様々な経験が自発的な取り組みに生かされていることをとても嬉しく思いました。

(峯崎 友香理)